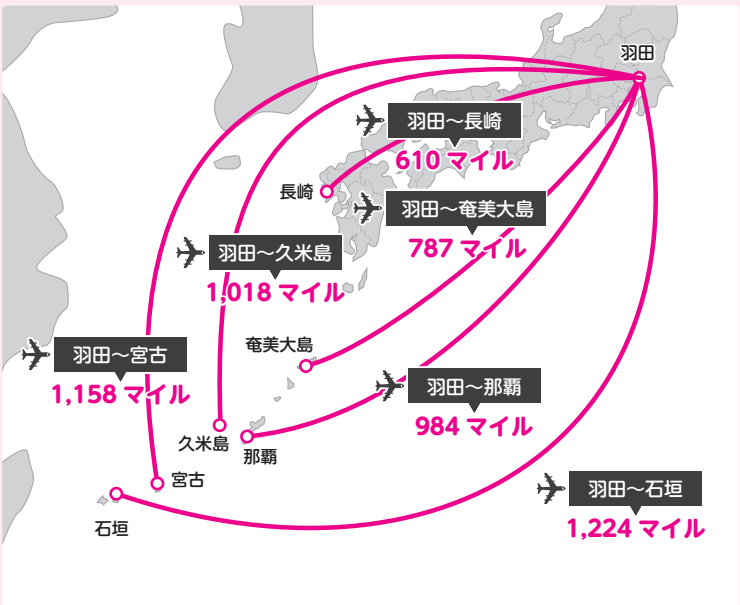
多少区間マイルが減っても人気の観光地に行きたい場合は、長崎、鹿児島、旭川、熊本、福岡などが行先の候補地として挙げられます。各々の路線の区間マイルは、順に610マイル、601マイル、576マイル、568マイル、567マイルであり、那覇には及ばないものの、決して悪い水準とはいえません。

■ 区間マイルの多い国内線の主要路線



費用面でも、年間計画が重要です。ゴールデンウィークやお盆、年末年始などの旅行シーズンは航空券の料金が高くなります。こうした時期を避けてフライトプランを立てるとよいでしょう。反対に、**正月明けから2月、4月、ゴールデンウィーク明けから6月、11月、12月あたりは比較的安くなるため、狙い目**です。